

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公)

討議年月日:令和 4年 3月 8日

公表:令和 4年 3月 28日

事業所名 放課後等デイサービスEifer

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	1	4		定員を満たすと少し狭く感じる為、その都度、机等の配置を変え広く使用できるようにしていく。
	2	職員の配置数は適切である	2	3	人員基準に基づきながら利用者人数や支援内容に応じて調整している。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	5			玄関外の段差や、トイレに手すりが無い等、気になるところは、職員が必要に応じて援助していく。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5		月に一度の全体会議や日々の話し合いの中で目標設定を行っている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5		評価表に沿った業務改善が行われている。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5		情報公開をしている。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	2		
適切な 支援の 提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5		定期的に研修が行われている。	
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5		定期的に調査票やモニタリングを行って保護者のニーズ踏まえ立案している。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5		初回に全職員確認し、使用しながら支援に繋げている。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5		職員全体で案を出し合っている。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5		季節の行事をや、定期的に新しいプログラムを取り入れている。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	3	2		
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5		朝礼を行い、1日の流れや活動の説明を行っている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5		lineワークスで情報伝達・共有をしている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5		記録は随時共有し職員間で振り返り、改善策を話し合っている。	
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5				
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	5				

関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	5			
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	1	4		現在医療的ケアが必要な子どもや重症心身が いのある子どもは通っていないが今後そういった 子どもを受け入れる際は連携していく。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	3	2		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	2	3		
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	3		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		5		
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		5		
保護者への 説明責任等	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5		送迎の際や電話、連絡 帳にて保護者とお子様 の状況や課題について 伝え合う機会を設けて いる。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	5		保護者にも支援 方法を提案して いる。	家族プログラムを計画・実施し、家族連携し ていきたいと考えている。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5		契約時に分かりやすく 丁寧に説明するよう 気を付けてながら行う ようにしている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5		電話や面談、送 迎時等で行うよう にしている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		5		親子体験は、時期をみて行っていく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5		迅速に対応でき るよう心掛けている。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4	1		SNSやLineのタイムラインを通して発信して いるが知らない保護者様もいる為、今後伝 えていくようにする。
	35	個人情報に十分注意している	5			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5		個人に合わせて、伝え 方や伝えるツールをか え、分かりやすい伝達を 心掛けている。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		5		行っていない為、今後立案し検討していく。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	3	2	マニュアルを作成し、提示している。	今後わかりやすくし、保護者に周知していく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5		毎月必ず防災訓練を行っている。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5			
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5			
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5			全職員把握し対応しているが医師との連携が図れるようにしていく。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5		作成し記録保管、ミーティング内で情報共有し改善をするようにしている	